

## ウォシュレット® アプリコット Fシリーズ 施工説明書

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

### 施工情報

- 必ず同梱のベースプレートを使用してください。旧型のベースプレートでは、ウォシュレットの取り付けができません。
- F1A・F2A・F3A・F4A・F5Aタイプの場合…必ず便器洗浄ユニットを取り付けてからウォシュレットをセットしてください。(施工のしやすさ、キズ防止のため)
- 便ふたがロータンクふたや壁に当たる場合は、当たり音軽減のため同梱のクッションを貼り付けてください。

### 安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

警告	警告	注意
<p><b>警告</b></p> <p>誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。</p>	<p><b>警告</b></p> <p><b>水使用禁止</b></p> <p>浴室など湿気が多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)</p> <p>指定する電源(交流100V)以外では使用しない (火災の原因になります。)</p> <p>電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない (火災や感電の原因になります。)</p> <p><b>禁止</b></p> <p>水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)</p> <p>車輻・船舶など移動体への設置はしない ●火災や感電、故障の原因になります。 ●ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。</p>	<p><b>注意</b></p> <p>便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)</p> <p><b>禁止</b></p> <p>給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)</p> <p>止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない (水が噴き出します。)</p>
<p><b>注意</b></p> <p>誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容です。</p>	<p><b>必ず守る</b></p> <p>電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)</p> <p><b>アース接続</b></p> <p>アース(D種接地)を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)</p>	<p><b>必ず守る</b></p> <p>施工は施工説明書に従って確実に行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)</p> <p>給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める (確実に締めないとき水漏れの原因になります。)</p>
<p>絵表示の例</p> <p><b>してはいけない「禁止」の内容です。</b></p> <p><b>必ず実行していただく「強制」の内容です。</b></p>		

### 取り付け前のご注意

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
  2. 便器に取り付ける前に、ウォシュレット本体にベースプレートをセットして通電しないでください。温水タンクが空の状態ではヒータが入るため、故障の原因となります。
  3. 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力はF1・F1A・F2・F2A・F3・F3A・F5・F5A:1282W、F4・F4A:1378Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。
  4. 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
  5. 給水圧力範囲は0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧)です。この圧力範囲でご使用ください。
  6. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
  7. 同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。
- ※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

下記の場合はTOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンター  
TEL ☎0120-8282-55・FAX ☎0120-8272-99へご連絡ください。

#### 給水ホースの長さが不足の場合

給水ホースの長さは約1mです。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、③給水ホースの接続の④項に長い給水ホースを記載していますので、適切な長さのホースを選んでください。

#### 右給水の隅付タンクへ接続する場合

隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、給水ホースの長さが足りませんので別売品の中継アダプタTCA58が必要となります。

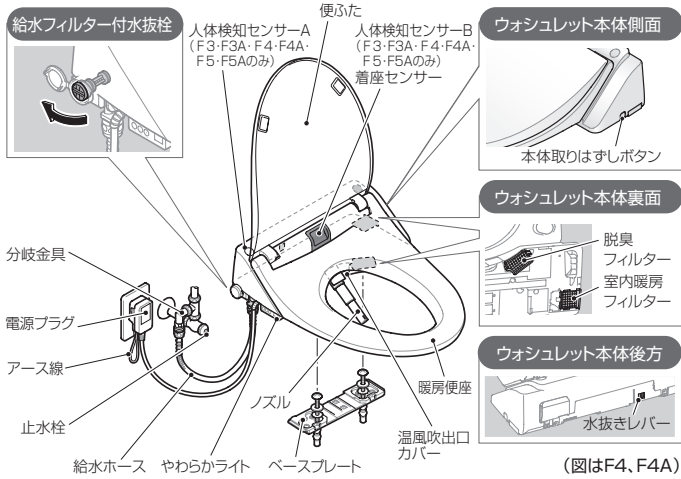
#### フラッシュバルブへ接続する場合

- ①分岐口のあるFVに接続する場合→別売品の専用アダプタTH343Rが必要になります。
- ②分岐口がないFVへ接続する場合→別売品の専用アダプタTH484(FVの給排水芯120mm用)またはTH484-1(低圧FV用)が必要になります。
- ③分岐口があるFV止水栓へ交換する場合→別売品のTH347-1S(節水型)またはTH502-1S(普通型)が必要になります。

### 同梱部品

<p><b>リモコン部品</b></p> <p>※標準リモコンまたはスティックリモコンのいずれかが同梱されています。サウンドリモコンはF5・F5Aのみ同梱されています。</p> <p><b>標準リモコン</b></p> <p>リモコン リモコンハンガー</p> <p><b>サウンドリモコン (F5・F5Aのみ)</b></p> <p>乾電池(単3形×4個)</p>	<p><b>給水ホース</b></p> <p>長さ:約970mm</p> <p>パッキン付</p>	<p><b>ベースプレート部品</b></p> <p>※分解せずにこのままで便器に取り付けてください。</p> <p>分解された場合、歯付座金には方向性があります。ご注意ください。</p> <p>くぼみ(2カ所)のある面が下になります。</p> <p>ボルト(2個) 座金(2個) 歯付座金(2個) ストッパー(2個) ゴムブッシュ(2個)</p>
<p><b>スティックリモコン</b></p> <p>リモコン リモコンハンガー</p> <p>※リモコンの盗難防止用部品が同梱されています。必ずお客様のご要望を聞いてから、作業してください。使用しない場合は、お客様にお渡しください。</p> <p>取付説明書付</p>	<p><b>分岐金具</b></p> <p>パッキン(2個)</p>	<p><b>クッション</b></p> <p>取付説明書付</p> <p>1個</p>
<p>乾電池(単3形×3個)</p> <p>※スティックリモコンの場合は2個のみ使用します。(1個は予備)</p> <p>ねじ(3本)</p> <p>アンカープラグ(3本)</p>	<p><b>印刷物</b></p> <p>取扱説明書、サウンドリモコン用取扱説明書(F5・F5Aのみ)、施工説明書(本書)、使いかた説明シート(スティックリモコン用)、アンケート用紙、延長保証チラシ、申込用紙、フック(使いかた説明シート用)、点字シール、便器洗浄ラベル、流すシール(スティックリモコン用)</p>	<p><b>フレグランスセット (F4・F4A・F5・F5Aのみ)</b></p> <p>取付説明書</p> <p>フレグランスオイルシート(8枚)</p> <p>トレイ(1個)</p> <p><b>便器洗浄ユニット</b></p> <p>(F1A・F2A・F3A・F4A・F5Aのみ)</p> <p>箱の中に便器洗浄ユニットの部品が入っています。</p>

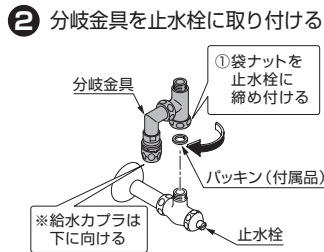
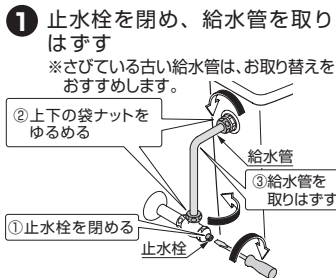
## 各部のなまえ



## 取付方法

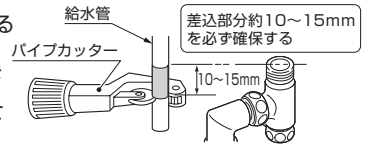
### 1 分岐金具の接続

#### 一般のロータンクへ接続する場合

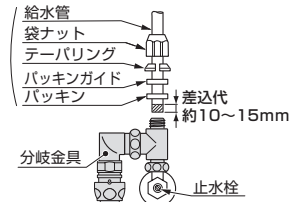


### 3 給水管の止水栓側を切断する

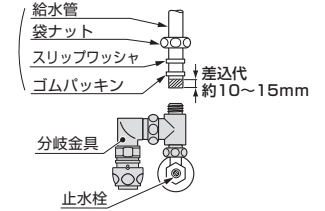
- 給水管の切断はパイプカッターを使用してください。切断後は切粉などを取り除いてください。



#### 接続部にテーパリングを使用している場合

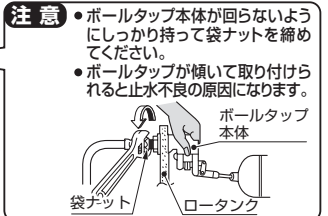
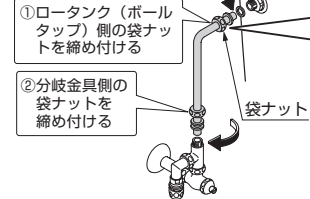


#### 接続部にテーパリングを使用していない場合



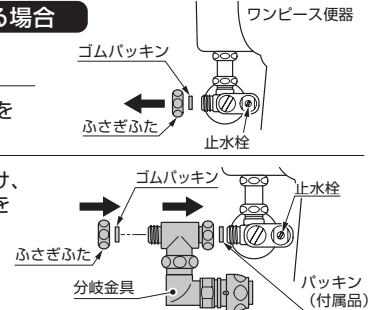
- 部品の順番、向きを間違えないでください。

### 4 給水管を取り付ける



#### ワンピース便器へ接続する場合

- 止水栓を閉める
- ふさぎふたとゴムパッキンを取りはずす
- 分岐金具を止水栓に取り付け、ふさぎふたとゴムパッキンを取り付ける

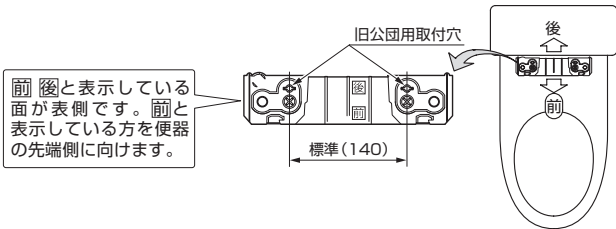


## 2 便器への取り付け

#### 一般の便器への取り付け

- 注意 すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。  
※旧型のベースプレートではウォシュレットが取り付けできません。

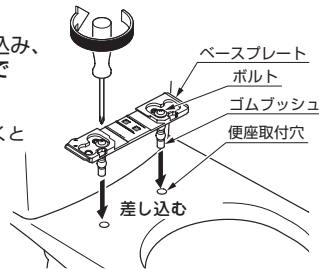
#### 1 ベースプレートの取付方向を確認する



#### 2 【仮締め】

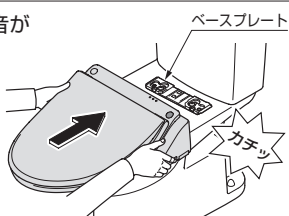
- ゴムブッシュを便座取付穴に差し込み、ベースプレートが動かなくなるまでボルトを締める

- ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくとしり込みがやすくなります。



#### 3 ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む

- ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。



#### 4 ウォシュレット本体がまっすぐ取り付くことを確認し、いったんウォシュレット本体を取りはずす

- 本体取りはずしボタンを押したまま手前に引くとはずせます。

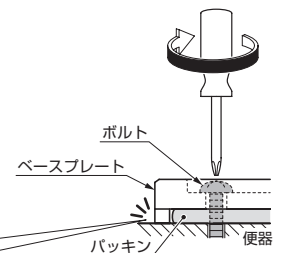


#### 5 【本締め】ボルトをしっかりと締めた後、再びウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまで押し込む

- 注意 正しく取り付けなかった場合は、ウォシュレット本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。

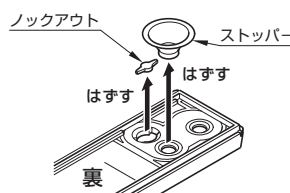
- ⊕ドライバーでボルトが回らなくなるまで締め付けてください。

- ※ウォシュレット本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタつきが発生します。(これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のすき間によるもので、異常ではありません。)

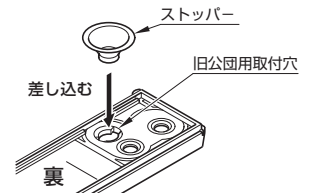


#### 旧公団用便器への取り付け

#### 1 ストッパーをはずし、ノックアウトを取りはずす



#### 2 ストッパーを旧公団用の穴へ付け替える



### 3 給水ホースの接続

① ウォシュレット本体をベースプレートから取りはずす  
(②便器への取り付け④項参照)

② ウォシュレット本体の給水口に給水ホースの袋ナットを締め付ける  
※この状態のまま製品を床に置かないでください。給水ホースが折れ、水漏れの原因になります。

**注意**

給水口をモンキーレンチで固定して給水ホースを接続してください。  
(無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因になります。)

モンキーレンチ  
スパナ

横向き 下向き  
ウォシュレット本体の給水口は下向きと横向きに回転します。ワンビース便器の場合は給水口を横向きにしてください。

③ 給水ホースを分岐金具の給水カブラに差し込む  
(差し込み後、給水カブラの凸部と凹部を90°ずらしてください。)

分岐金具 給水カブラ 給水口 袋ナット(パッキン付) 止水栓 プラグ 給水ホース

※金属部に傷を付けないようにしてください。またゴミなどは取り除いてください。  
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

カチッ  
90°ずらす

④ 給水ホースを取り付けた状態で、ウォシュレット本体を取りはずしたり取り付けたりできる長さがあるか確認する

※給水ホースの長さが足りないときは下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同梱品の給水ホースの長さは970mmです。)  
お求めはTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター TEL 0120-8282-55・FAX 0120-8272-99へご連絡ください。

給水ホース長さ(mm)	品番	希望小売価格
1180	D24009ZNt5	¥2,000(税別¥2,100)
1480	D24009ZNt6	¥2,300(税別¥2,415)
1980	D24009ZNt7	¥2,800(税別¥2,940)

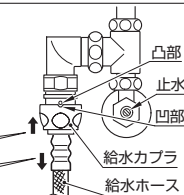
※品番や小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※分岐金具の給水カブラは一時止水機能付ですが、給水ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。

### 給水ホースのはずしかた

●施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは、次の手順で行ってください。

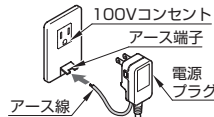
- ① 止水栓を閉める
- ② ロータンクの水を流す
- ③ 給水カブラの凹部と凸部を合わせ押し上げる
- ④ 給水カブラを押し上げたまま給水ホースを引き抜く



⑤ ウォシュレット本体をベースプレートに取り付ける  
(②便器への取り付け④項参照)

### 4 アース線の接続

●アース線をコンセントのアース端子に接続してください。  
※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。



### 5 電源プラグの確認

**注意** (F3・F3A・F4・F4A・F5・F5Aのみ)

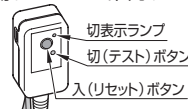
- 電源プラグを入れて最初に便ふたが開くとき、障害物に当たると次から便ふたが途中で止まる場合があります。(3回続けて開いた位置を記憶します。)  
障害物を取り除いた状態で電源プラグを一度ははずしてもう一度差し込み、リモコンの「便ふた開」スイッチを押してください。
- 電源プラグを入れてやわらかライトが約10秒〜約1分間点滅した後、便器に近づくと自動で便ふたが開きます。やわらかライト点滅中(人体検知センサーA準備中)は、便ふたは「オート開」しません。
- 検知した状態になると脱臭を始めます。

① 電源プラグを100V(50/60Hz)のコンセントに差し込む

- F1・F1Aの場合:ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。
- F2・F2A・F3・F3A・F4・F4A・F5・F5Aの場合:温風吹出口カバーが開閉した後、ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

② 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

- 「切(テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
- 「入(リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する
- 以上のように作動すれば正常です。
- 「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。
- テスト後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。

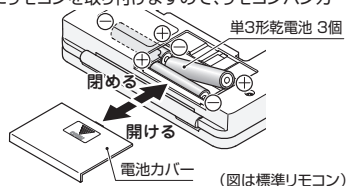


### 6 リモコンの取り付け

※F5・F5Aは、サウンドリモコンのハンガー部にリモコンを取り付けますので、リモコンハンガーは不要になります。

① 電池カバーを開け、リモコンに乾電池を入れる

- ※⊕⊖を間違えないでください。
- ※スティックリモコンの場合は電池を2個のみ使用します。(1個は予備)



② 次の確認を行なってリモコンの取付位置を決める(図は標準リモコン)

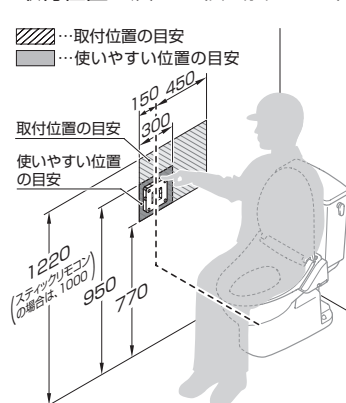
#### 【操作性の確認】

- 便座に座った状態で操作を行ない、取付位置を決めてください。
- ※室内の広さ、壁、材質などの条件により、リモコンの受信性能が変わることがあります。スイッチを押してノズルが伸縮することを数回確認してください。

#### 【作動の確認】

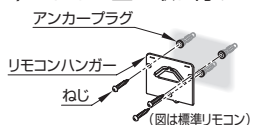
- 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、右側の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

※サウンドリモコン(F5・F5Aのみ)の場合、左側に約20mmの空間を確保してください。(電池交換のため)



③ リモコンハンガー(またはサウンドリモコン)をねじで壁に取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。

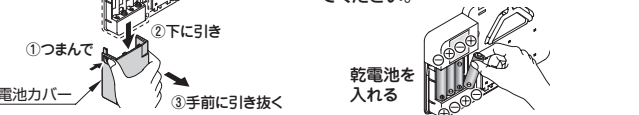


スティックリモコンには盗難防止用の部品が同梱されています。

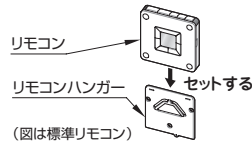
- リモコンを固定する場合に使用してください。取付方法は同梱の説明書をご覧ください。(必ずお客様のご要望を聞いてから、作業してください。)

### 4 サウンドリモコン(F5・F5Aのみ)【乾電池の入れかた】

- ① 電池カバーをつまんで、下に引き ② 単3形乾電池4個を入れ電池カバーを取り  
手前に引き抜く 付ける  
※乾電池は⊕⊖を確認して正しく入れて  
ください。

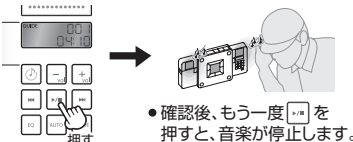


⑤ リモコンをリモコンハンガー(またはサウンドリモコン)にセットする



### 6 サウンドリモコン(F5・F5Aのみ)

音楽が流れるか確認する

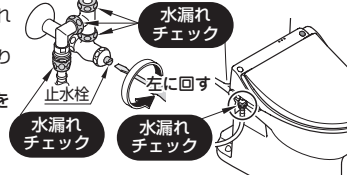


## 試運転

- 試運転の前には必ず「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。(「入」のときは「運転ランプ」が点灯します。)  
「運転入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでウォシュレット本体は作動しません。
- ※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。

### 1 水漏れの点検

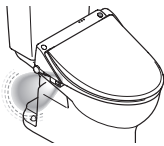
- 止水栓を開けて配管接続部から水漏れがないことを確認します。
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認します。
- ※万一、水漏れがあれば、再施工を行い水漏れを止めてください。



## 2 機能の確認

### 1 電源プラグを入れる

- 約10秒～約1分間やわらかライトが点滅します。(人体検知センサーA 準備中) その間便ふたは「オート開しません」。(F3・F3A・F4・F4A・F5・F5Aのみ)
- 検知した状態になると脱臭を始めます。



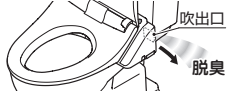
### 2 着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。検知した状態になるとやわらかライトの光が明るくなります。(F3・F3A・F4・F4A・F5・F5Aのみ)
- またノズル付近から数秒間水が出ます。(便座を開けないと着座センサーははたらきません。)



### 3 脱臭機能を確認する

- ウォシュレット本体背面右側の吹出口より風が出ていますか?



### 4 パワー脱臭機能を確認する

- ① 「パワー脱臭」スイッチを押す → 脱臭音が大きくなりますか?
- ② もう一度、「パワー脱臭」スイッチを押す → 通常の音に戻りますか?

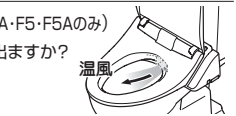
### 5 洗浄機能を確認する

- ① 「おしり洗浄」「やわらか洗浄」「ビデ洗浄」スイッチを押す → ノズルから適温の温水が出ますか?
- ② 「水勢調節」スイッチのプラス・マイナスを押す → 水勢が変化しますか?
- ③ 「止」スイッチを押す → 温水が止まりますか?



### 6 乾燥機能を確認する (F2・F2A・F3・F3A・F4・F4A・F5・F5Aのみ)

- ① 「乾燥」スイッチを押す → 温風がノズルの右側から出ますか?
- ② 「止」スイッチを押す → 温風が止まりますか?



### 7 室内暖房機能を確認する (F4・F4Aのみ)

- ① 「室温入/切」スイッチを押す → ウォシュレット本体の右側から温風が出ますか?
- ② もう一度「室温入/切」スイッチを押す → 約10秒後に温風が止まりますか?
- 室温が設定温度(上限は25℃)以上のときは、約20秒間風が出て、自動で止まります。



### 8 暖房便座機能を確認する

- 便座があたたまるまで約15分かかります。

### 9 着座センサーを白紙で30秒以上おおった後、白紙をはす

- 白紙をはすすとやわらかライトの光が少し暗くなります。
- ※約30秒間ノズルが少し出た状態で少量の水が出ます。
- ノズル収納後、温風吹出口カバーが少し開いて閉まります。(F2・F2A・F3・F3A・F4・F4A・F5・F5Aのみ)

### 10 オートパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか? ● 約2分後に自動で止まりますか?

### 11 オート便器洗浄機能を確認する

- ① 白紙をはすす → 約5秒後に自動で便器洗浄しますか?
- ② 男子小便時オート便器洗浄の確認(F3A・F4A・F5Aのみ):
  - ①の確認から、約1分後に便座・便ふたを開けた状態で便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れる → 約3秒後に自動で便器洗浄しますか?

### 12 リモコン便座・便ふた開閉機能を確認する (F3・F3A・F4・F4A・F5・F5Aのみ)

- 「便座・便ふた開閉」スイッチを押すと便座・便ふたが開閉しますか?

### 13 オート開機能を確認する (F3・F3A・F4・F4A・F5・F5Aのみ)

- 便ふたが開まり約10秒後、便器の前に立つと便ふたが自動で開きますか?
- ※便ふたが自動で開かない場合は体を動かしてみてください。

### 14 リモコン便器洗浄機能を確認する (F1A・F2A・F3A・F4A・F5Aのみ)

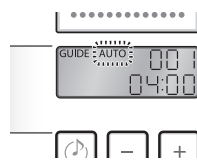
- ※オート便器洗浄後、リモコン便器洗浄機能を確認するときは10秒以上間隔をあけてください。
- リモコンの「大・小」スイッチ、または「流す」スイッチを押すと、便器の水が流れますか?

### 15 オート開機能を確認する (F3・F3A・F4・F4A・F5・F5Aのみ)

- 便ふたが開いた後、便座を開けてください。便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約90秒後に便座・便ふたが自動で閉まりますか?

### 16 オートサウンド機能を確認する (F5・F5Aのみ)

- ① 便ふたを開いて「入」を「入」にする → 表示部が点灯している状態にしてください。
- ② 「入」を「入」にして便器の前に立つ → 音楽が流れますか?
- ③ 確認が終わったらもう一度「入」を押し、「切」にする

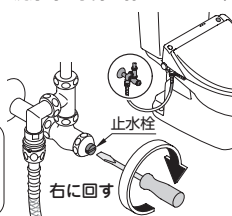


## 給水フィルターの掃除

- 試運転後は必ず給水フィルターを掃除してください。(フィルターにゴミが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。)

### 1 止水栓を開けて給水を止める

- ロータンクの水を流してください。
- 「ノズルそうじ」スイッチを押して、ノズルを伸ばさせてください。(給水管内の圧抜きです。)



#### 注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜き栓をはずさない(水が噴き出します。)

### 2 キャップを開けて、給水フィルター付水抜き栓をゆるめた後、引っ張ってはすす



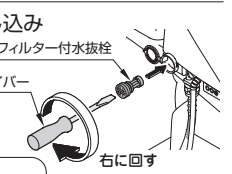
### 3 フィルターを水洗いして小さなゴミを取る

- ※ウォシュレット本体の給水フィルター付水抜き栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。



### 4 給水フィルター付水抜き栓を押し込み確実に締める

- ※ノズルが戻っている場合は、もう一度「ノズルそうじ」スイッチを押して、ノズルを伸ばさせてください。



#### 注意

給水フィルター付水抜き栓は確実に締める(確実に締めないと水漏れの原因になります。)

### 5 「ノズルそうじ」スイッチを押し、ノズルを戻す

### 6 止水栓を開けて給水フィルター付水抜き栓部から水漏れがないことを確認する

### 7 キャップを閉める

## 凍結のおそれがあるときの処置

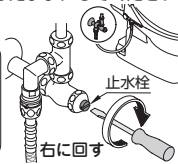
- お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故防止のため、次の要領で水抜きしてください。(電源プラグは差し込んだままにしてください。)

### 1 止水栓を開けて給水を止める

- ロータンクの水を流してください。水が流れ出てしまうまでレバーを回したままにしてください。

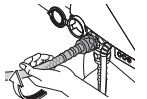
#### 注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜き栓をはずさない(水が噴き出します。)



### 2 配管の水を抜く

- ① リモコンの「ノズルそうじ」スイッチを押す(配管内の残水を抜く準備です。)
- ② キャップを開けて給水フィルター付水抜き栓をゆるめた後、引っ張ってはすす(給水フィルターの掃除 ②項 参照)
- ③ 給水ホースを持ち上げてホース内の水を抜く(約30ml)



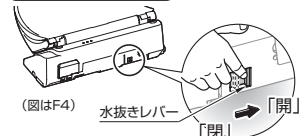
### 3 ウォシュレット本体を取りはずす

- (②便器への取り付け ④項 参照)
- 取りはずしたウォシュレット本体は便器上面の前方に置いてください。

### 4 ウォシュレット本体内の水を抜く

- ① 水抜きレバーを「開」位置に押し続ける
- ウォシュレット本体のノズル付近から水(約40ml)が便器内に出ます。水が完全に抜けるまで約15秒かかります。
- ② 手を離し、水抜きレバーを「開」の位置に戻す
- 水抜きレバーを押している途中でノズルが自動で出てきます。ノズルの穴から少量の水が出て、約30秒後に自動で戻ります。
- ※ウォシュレット本体のノズル付近および、ノズルの穴から出る水が便器内に落ちるようにしてください。

#### ウォシュレット本体背面



### 5 給水フィルター付水抜き栓を押し込み確実に締めてキャップを閉める

- ※ノズルが戻っている場合は、もう一度「ノズルそうじ」スイッチを押して、ノズルを伸ばさせてください。(給水フィルターの掃除 ④項 参照)

### 6 「ノズルそうじ」スイッチを押して、ノズルを戻す

### 7 ウォシュレット本体を取り付ける

- (②便器への取り付け ②項 参照)

## 工事店様へ

- スティックリモコン用の盗難防止用部品を使用しない場合は、お客様にお渡しください。
- 使用しない乾電池は、工事完了後お客様にお渡しください。
- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。
- 新築などお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。
- ウォシュレットを左右または対面方向に2台以上ならべて設置するときは、隣のリモコン信号を受け付けて作動することを防ぐため、リモコンの連立対応を行ってください。詳しくは、連立対応については(URL) <http://buhin.toto.co.jp/>「施工方法」の欄「ウォシュレット施工方法(リモコン連立対応など)」をご覧ください。